

平成 26 年 教育課程全体会議 3 議事録

開催日時	平成 26 年 12 月 12 日（金） 14 時 00 分～15 時 45 分
会 場	本校格技場
運営者の説明および出席者の意見交流の事項	
〈教育課程全体会議にあたり〉 ・今回は 1 時間内で話し合いをして欲しい。 ・アンケート→1 回目会議→2 回目会議で検討した。全体で共有して作り上げていく形である。 ・意見の多いものを取り上げて進めていくが、育てたい生徒像を出発点にして考えて欲しい。 【検討 1 授業時間の設定について 経過説明】 ・2 回目の全体会議のまとめが配布資料の内容となっている。 ・45 分+5 分を基準としたい。単発授業はこの扱いで、生単・作業はチャイム関係なく連続で行う。 ・チャイムの扱い：開始時、45 分後、開始時、以降繰り返し で決定したい。 【検討 2 国語・数学の単位設定について 経過説明】 ・2 単位時間必要の意見が多かったため、2 単位時間で決定したい。 【検討 3 情報、職業（キャリア）について】 <原案：職業> ・今までの形で運用して、1 年生の形を検証してから教科にしてみても良いのではないかな？ ・新 1 年生は、今年同様。新 2 年生は、1 年生で実施した内容を検証。新 3 年生は、今までの生単を積み上げて行う。 <原案：情報> ・担当する教員の負担過多になる。生単の題材として、3 年間進めてはどうか？ ・これまで出張で参加できなかった、進路担当の意見も取り入れたい。 <意見：進路 上村 T> ・卒業生の実態把握の調査研究をしている最中であり、それを踏まえて提案する。 ・職業について：今までの学習で卒業生に問題が出ているのではない。コミュニケーションが原因で問題が発生している。今の授業の手法を見直すのが良いと思う。授業の工夫で生徒の力を上げていくのが良いのではないかな。 ・総合での進路学習は検証されていないため、身についているか不明。現場実習、個別実習での生徒の意識が変わっているのであれば、効果があると思う。その効果は単年ではなく、複数年の検証が必要。 ・スマホでのコミュニケーション力が喫緊の課題。パソコンソフトの操作は進路先から多く求められているのではない。今はそれではなく、スマートフォン対応が必要。 ・情報が教科か生単かは判断できないが、指導はして欲しい。若い先生の経験が指導に生きると思う。 ・女子生徒の性に関する問題が起きている。異性関係を今以上に指導して欲しい。	

<意見>

1 G 職業：生単で良い

情報：生単で良い。

2 G 職業：科目を起こすと見切り発車になると思う。生単の教材として検討しなおすのが良い。

情報：技術ではなく、スマートフォンのコミュニケーション力が必要。生単への組み込みが良い。

3 G 職業：1年生の総合のままで良い。

情報：科目で立ち上げると免許取得者がいないと困る。3学科まとめた授業は大変。生単で良い。

4 G 職業：今の1年生の総合の形で良い。

情報：学校が携帯電話禁止のため、情報教育が難しいと思う。生単で良い。

5 G 時間：国数はこの形で申請できるのか？中身は45分間を生徒にも伝えるのか？朝読書は効果があるのか？朝はペン字とかも良いのでは？1年生にまとめた形でも良いのでは？国数を増やし、生単、作業の時間を削るのはいかななものか？

教頭 ・朝読書は、単位時間に組み込まない。朝読書の効果はある。

<まとめ>

- ・総合的な学習の時間は、中身の精査が必要。教務側で行う。 $+\alpha$ を検討する。
- ・時間割の29コマは他校も同じである。
- ・今金の強みは何か。作業で仕事する力、体力づくりで体力をつけていることではないだろうか。
- ・作業学習の時間確保のため、国数2単位は生単を削っている。あとは、どこを削るか？
- ・どこを強化するのか？学校としての到達目標はどうやって達成するのか？が、課題である。
- ・生単部会で、中身の精査が次年度必要。職業で教えようとしていた中身を検討しなければならない。
- ・作業部会で、作業時数を検討する必要がある。参考として、あいべつ高のデュアルシステムについて（火曜日に実施し、すぐに反省し、来週の火曜日に生かす、という形で進めている）

【検討4 その他検討事項】

<原案>

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 委員会活動のあり方 | 本来は課外活動。今後の実施方法について |
| 2. 部活動について | 活動時間をどうするか。週1、2、毎日など |
| 3. 授業担当者について | TT人数は適切か |

<意見>

1 G

1. 継続。中身やあり方を検討すべき。生徒の自治的活動を重視したほうが良い。
2. 顧問と部活動の数、内容も見直しが必要。（顧問：ボランティアでしているのをなくす。）
3. 授業は基本的に指導者1人だが、家庭科にはST必要。たとえ、生徒が困っていてもその生徒が対応できる力を身に付けさせる指導をしていくのが良い。

2 G

1. 月1でも良いので確保。全学年で学年学科の関わりなく活動できる時間は重要。
2. 部活によって、週1か2の選択制で良い。
3. 作業、国数はST必要。生単は、全体学習時には1人、G別は複数など柔軟な形でも良い。

3 G

1. 放課後実施の場合は、必要な委員会を精査する必要がある。
2. 各部で検討する。
3. 必要に応じて変更する。

4 G

1. 原案通りで良い。
2. 週1で良い。
3. 個に応じた指導が必要のため、学年ごとに対応が良い。

5 G

1. 通知票の表記はどうなるのか。進路部の話にあったコミュニケーション力は委員会で学べると思うため、必要。
2. 顧問の決め方から考えたい。現在の決め方では、部活動が消滅するのでは？
3. 授業の中身によってT Tが必要だと思う。内容に合わせて、弾力的な運用が良い。教員の個の意識改革が必要。

<まとめ>

- ・教頭 2. 顧問のボランティア精神の体制は変えたほうが良い。教員全員がどこかを担当する。全体で生徒の指導に当たるのが良い。
- ・次は12月25日。それまでに必要があれば、会議日程等調整する。
- ・最終的には28年度1間口増に向けて、変えていく。

【全体として】

<意見>

泉谷T ・今回は、検討3職業と情報を話し合ったが、検討1、2は、検討していないがどうなのか？
・1はいいが、2は多数意見ではなかったと思うが、どうなのか？

教頭 ・最終決定は、職員会議→校長決済。最後決めるのは、校長である。

泉谷T ・職員会議へ提案する形は、どうなるのか？

教頭 ・今の提案かもしれないし、変わるかもしれない。

渡邊T ・これで決定ではなく、今回の協議内容を組み入れてもらえるのか。

金子T ・グループ別で考えた多数意見として捉えている。国数2単位は全体として必要と捉えているのではないだろうか。

泉谷T ・全体の意見を反映させて欲しい。

金子T ・1. 5単位など、弾力的な運用もできるが、どこかで線引きしなければならない。

教頭 ・大多数の意見で組み立てていかなければならない。求めているが、必要があれば対案を出して欲しい。何かあれば、いつでも聞く。

上記のとおり会議を開催した。

平成26年 12月 12日

北海道今金高等養護学校長 高嶋 利次郎 印